

環境報告書 2011

2011年7月

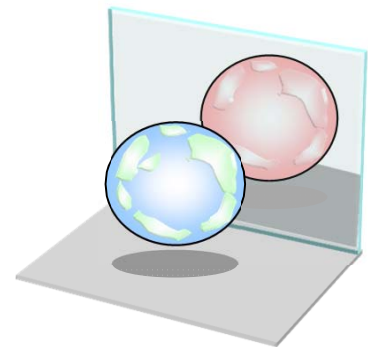
コーデンシ株式会社

地球温暖化に代表される環境諸問題が深刻化し、環境への取り組みについてますますその必要性が叫ばれる中、当社におきましても環境保護を事業活動における最重要課題の一つと捉え社員一人一人の環境保全意識のもと全社を挙げて環境負荷の低減に努めております。

主な取り組み

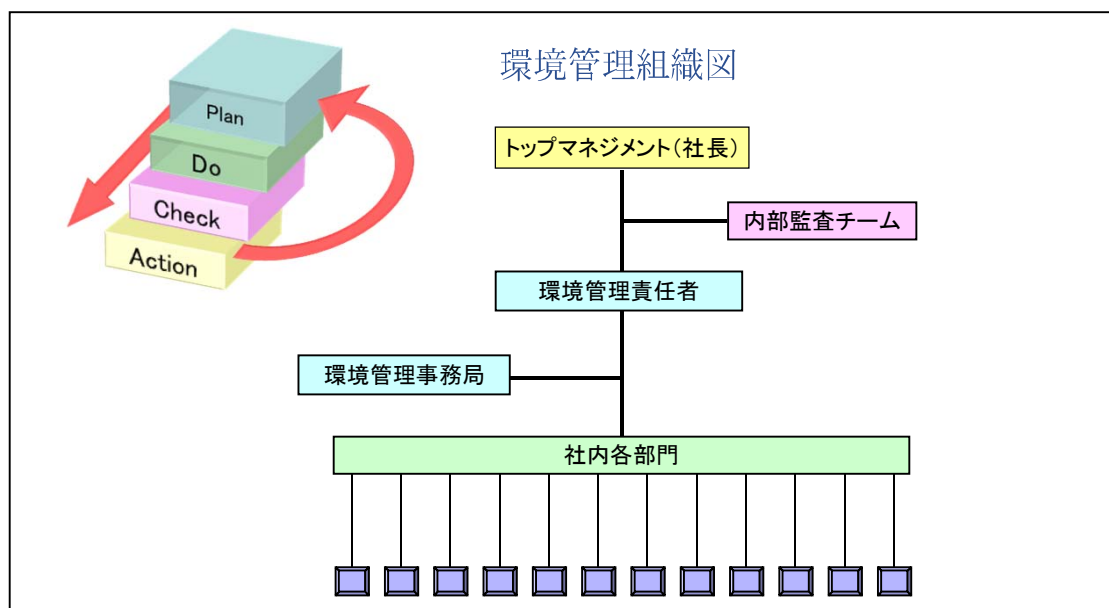
当社における環境保護・環境負荷低減に対する主な取り組みは以下の通りです。メーカーとしてより効果的な環境負荷低減活動を展開するため、製造・開発面を中心に環境負荷低減を図っております。

- 電力等エネルギー使用量の削減
- 廃棄物排出量の削減
- 原単位(半導体チップ生産数)あたりのエネルギー使用量および廃棄物排出量の削減
- 消費電力低減品および製品面積・体積低減品の開発
- RoHS指令への適合等、製品含有化学物質管理の徹底



環境管理体制

当社ではISO14001:2004に基づき以下の環境管理体制により環境負荷低減活動および環境マネジメントシステムの継続的改善に取り組んでおります。



2010年度活動実績

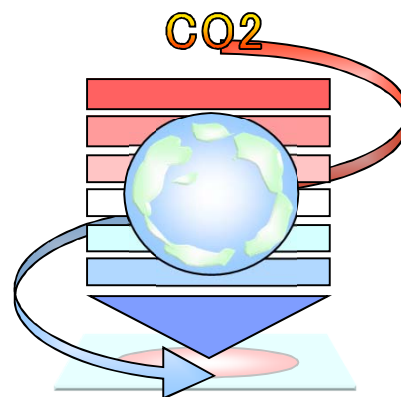
当社における2010年度の主な活動内容および実績は以下の通りです。

2010年度 主な活動内容	実 績
原単位(半導体チップ生産数)あたりの電力消費量削減	品質、生産効率の向上により、前年度より19.5%削減致しました。一方で総電力消費量は生産量・人員増加に伴い増加傾向にあり、引き続き今後の課題としてその削減に取り組んでまいります。
原単位(半導体チップ生産数)あたりの特別産業廃棄物排出量削減	品質、生産効率の向上により、前年度より9.3%削減致しました。一方、特別管理産業廃棄物の総排出量については生産量の増加に伴い増加しておりますので、引き続き排出量抑制に努めてまいります。
売上金額100万円あたりの社用車ガソリン使用量削減	移動面での効率的な営業活動の推進・浸透や、低燃費車の導入により、社用車のガソリン使用量を前年度より14.2%削減致しました。
その他エネルギー・資源の効率的利用推進	生産効率の向上により、原単位(半導体チップ生産数)あたりの水使用量につき前年度より26.8%削減致しました。一方、ガスの使用量については増加しており、引き続き今後の課題としてその削減に取り組んでまいります。
消費電力低減品および製品体積低減品の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・省電力製品であるLED照明用のLED Lampを開発、量産移行致しました。 ・ICチップにおいてチップ面積22%低減品を開発、量産移行致しました。また、センサ用ICにおいては消費電流44%ダウン品を開発、量産移行致しました。
化学物質の管理徹底・RoHS指令対応	Pbフリー品への切替とともに製品含有化学物質管理を徹底・強化し、RoHS指令その他の規制およびお客様のご要望に漏れなく対応致しております。

今後の課題・取り組み

生産量が増加する中でいかにエネルギー消費量を削減し、CO2排出量削減を進めていくかが今後の課題となります。これまで以上に電力等エネルギー・資源の有効活用・効率的な使用を徹底し、CO2削減に取り組んでまいります。

また、今後も製品開発における環境負荷低減を積極的に進めることで社会全体における環境負荷低減に貢献するとともに、企業の社会的責任を果たすべく環境保全に取り組んでまいります。



コーデンシ株式会社